

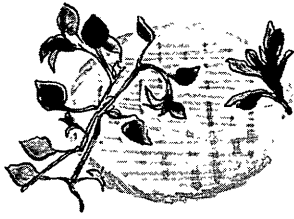
年越す蝶

宮坂静生



白鳥の炎のごとく飛来せし  
小鼓の弓手右肩叩き始め  
わが素足蚯蚓結ぶ秋津洲  
鈍刀の山稜雪雲の泊まる  
老僧の喝を受けたる雪嶺か  
豪雪の六百足這ふ山の壁

○冬至の初候



無為なるよ瓢箪木の実が連み  
無念無想戸板に並ぶ雑茸  
師も朋も逝き虚無僧茸をわれは食ぶ  
ハロウイン切株風が磨き立て  
山もまた眠りそびれし熊ばかり  
玄圃梨果柄ふくめばわれ幼な  
位里・俊の描く沖縄年越す蝶

「沖縄戦の図」河邑厚徳監督を観る